

はるくまの『おはなしづくり』

おはなしをつくるために図書館で

新刊をチェックするなど、日々のネタ集めはかせません。時には「こんな本があったらいいな」というところから、自分たちでつくり出すこともあるそうです。

絵本や紙芝居のおはなしをつくるにあたって、まずふたりでおはなしの構成などを相談します。その後、菅原さんがイラストを描いていきます。おはなしの中に出てくる小道具などは、縫い物

はるくんのおはなしの舞台になるエプロン式の人形劇

エプロンがおはなしの舞台になっています。エプロンの中からたくさんの動物たちが現われて、おはなしが展開していくように子どもたちは大喜び！ 楽しく歌った後は、紙芝居『くまくまさんのかばん』のはじまりです！



が得意な鈴木さんの手づくりです。発想力豊かな鈴木さんは、いつ

も楽しいアイデアで子どもたちを喜ばせています。それぞれの好きなこと、得意なことが『おはなしづくり』にも活かされています。

はるくんとかくまの紙芝居の読み聞かせは息がぴったりです。ふつう読み聞かせというと、ひとりで読む形が多いですが、おふたりのおはなしの脚本はセリフが交互になるようにつくられています。ふたりで読むというのが「はるくま*おはなしのたね」のスタイルです。

また、おはなしの中には、キャラクターになったおふたり自身が登場します。妖精の「はるくん」と、くまの男の子「くまくま」です。どちらもおふたりらしいキャラクターです。菅原さん「自分たちのキャラクターを登場させて、おはなしをつくりたいと思いました。動かしやすく、おはなしもつくりやすいのです。」オリジナルのおはなしのひとつに『くまくまさんのかばん』という紙芝居があります。これは三重県環境学習情報センターからのリクエストでつくられた『物を大切に』がテーマのおはなしです。

厚紙にアクリル絵の具で描かれた紙芝居は発色がよく、手づくりならではの温かさ。

※ストーリーは簡略化してあります



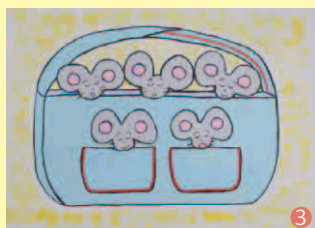
「あっ！昨日お昼寝したところに忘れてきたのかな」くまくまさんはかばんをさがしに出かけます。



妖精のはるくんさんとくまのくまくまさんは仲良し。ある日、はるくんさんにつくってもらった、くまくまさんの大事なかばんがなくなってしまいました。



そこで気持ちよく眠っているちゅー太郎くんたちのために、はるくんさんは、お布団をつくってあげることに！



「あった！」見つけたかばんの中には、ちゅー太郎くんたちがスヤスヤ眠っていました。



それから、うさぎのうさみちゃん、さるのもん太くんをお願いして、着られなくなったお気に入りの服を集めてきました。



それじゃあ布を集めよう！くまくまさんは、リすのくるりんさんにドングリ柄の小さくなったワンピースをもらいました。



チクチクチクチク縫いましょう〜！はるくんさんが小さく切った布をつないでお布団をつくります。



みんなのおかげでたくさんの布が集まりました。「さあ、切るわよ。くまくまさんも手伝ってね。」



はるくんさんのおかげで、みんなのお気に入りの服が生まれ変わって大喜び。大事なかばんも、くまくまさんのもとへもどってきました。



できあがったふわふわのお布団は気持ちよくて、ちゅー太郎くんたちは大喜び！はるくんさんは、みんなにもそろいのかばんをつくってくれました。

くまくまさんのかばんが子どもたちの目の前に！

紙芝居が終わると、くまくまさんのかばんが登場！おはなしの中にあっただけで実際に出てくることで、子どもたちにとってすごく身近なものになります。

